

公社からのお知らせ

老いじたく講座

誰にでも訪れる老いに備え、元気な時から準備して尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 平成26年1月21日(水)
13時30分から15時
場所 福祉公社1階会議室
内容 老いじたくの基礎知識
問合せ・申込 在宅サービス課後見係
Tel 23-1165

家族介護教室 みどりの輪

『輝く私。メーキャップ講座』

大変な介護の日々だからこそ、輝く自分を再発見!!

日時 平成27年1月29日(木) 13時30分から15時
場所 高齢者総合センター4階研修室
講師 (株)ちふれ 前本 美木子氏 本間 まどか氏
対象者 家族介護を行っている方、在宅介護に関心のある方
定員 12名(女性限定)
問合せ・申込 高齢者総合センター在宅介護支援センター
(^{まきた} 蔭田・^{さんぼ} 山保) Tel 51-1974

第8回 <私の故郷のお正月> 高齢者総合センター デイサービス 方波見 美穂

私は長野県駒ヶ根市の出身です(知っている方いますか?)。標高600~700mにある盆地で、冬の寒さは厳しく子ども頃は校庭がスケートリンクとなり体育の授業はスケートでしたが、現在は全面が凍らなくなりスケートはできなくなったそうです。それでも日中最高気温は氷点下という場所です。皆さんは年末年始、どのように過ごされましたか?

私の地方では大みそかに一番のごちそうを食べます。「お年取り」と言ってブリか鮭を食べるのですが、年末用のものは数センチはあろうかという厚さのもので、塩焼きにして頂きます。それ以外は家庭によって色々ですが、中には年明けを待たずにおせちを食べてしまう家もあります。もちろん年越しそばも年明け直前に慌てて食べます。そして、元旦は本当におせち料理とおもちだけですが、2日と3日の朝は特別な物を食べます。2日の朝は「書き初め」で墨を“する”…にかけて「すり初め」と言って、とろろ汁をご飯にかけて食べます。そして3日の朝は粕汁を食べます。この意味は調べましたがわかりませんでした。母親も「3日は粕汁って決まってるから。」と言うだけです。でも、お正月に食べるとろろ汁と粕汁は私の好物で、年が明けたんだな…と思いながら何杯もおかわりしてしまいます。

皆さんがこれを読まれる頃には、とろろ汁と粕汁の食べ過ぎでダイエットを決意しているかも知れません。

⇒ 次回は 高齢者総合センター 在宅介護支援センター 松原友子

次号は平成27年2月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikoshi.jp/>

福祉公社通信



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

発行日 平成27年1月10日【第22号(月刊)】

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

清新な初御空を仰ぎつつ、福祉への思いを新たにす、年の初めです。

ふだん何気なく見聞きしていること、ありふれた情景が、年が明けると「初」がついて、心があらたまります。

新たな地域包括ケア構築のために、市の福祉システムのなかで、福祉公社が十全に責務を果たせるように、真摯に問い続ける一年にしたいと考えています。

<紙面から>

理事長 年頭ご挨拶 … 1ページ

各係からの年賀状集 … 2ページ

お知らせ リレーコラム … 3ページ

お知らせ リレーコラム … 4ページ

年頭のご挨拶



理事長 長澤 博暁

迎春

謹んで新春の御祝詞を申し上げます。

皆様には、ご健勝にて佳き年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

お蔭様にて、福祉公社は昭和55年12月の設立以来、35回目の新年を迎えることができました。

これもひとえに、皆様のご理解、ご協力の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当公社はこの4月から新たに「つながりサポート事業」を開始いたします。又、市民の多くの皆様が、利用しやすい「地域福祉権利擁護事業」の拡充を図ります。

その他にも時代の要請に応じた新規事業を予定しておりますが、30年以上に亘る福祉実践のノウハウを活用し、市民福祉の向上に寄与できるよう、努力を惜しまぬ所存です。

創業時からの理念「住み慣れたところで一生を」の実現を目指し、皆様が安心して穏やかな市民生活を送ることができるよう、役職員一同、業務に精励いたしますので、何とぞ宜しく願い申し上げます。



福を呼ぶ北町
 年女！山崎倫子先生96歳
 元氣力アップ北町料亭料理
 いきいき活動的なボランティア
 笑顔がいっぱい高齢者
 安心の介護
 武蔵野市立北町高齢者センター
 コミュニティケアサロン
 武蔵野市吉祥寺北町四一十六
 0422-545300

地域社会の熱意に支えられて28年、武蔵野夫人と武蔵野紳士が集い、人生の拠り所となるような交流の場を目指します。
 このコミュニティケアサロンには語らう友とやさしい市民ボランティアがいます。

地域包括ケアの実現を目指し、地域で支援する全ての方々と手をたずさえて、高齢者一人ひとりの幸福を支えます。



新たな「つながりサポート事業」に伝統の有償在宅福祉サービスの魂を込めて、サービス提供いたします。
 成年後見もお任せ下さい。
 培ってきた30有余年のノウハウを活用して、全人的にご利用者を支えます。

シャープな感覚でケアプランを作成します。
 福祉会社のネットワークを活用してご利用者の在宅生活をフォローします。



ご利用者もご家族もボランティアさんも職員も、みんな笑顔で元気になるデイサービスを目指します。入浴サービスと機能訓練に、ますます力を入れて、ご利用者の在宅生活を支えます。



健康長寿を実践する市民の皆様の総本山となるように、今年も多彩な講座、大人気の地域健康クラブ、心ときめく行事を展開します。
 元気シニアのパワーを地域福祉につなげる営みを通して、支え合いのまちづくりの一助となります。

目配り・気配り・温かい心で介護サービスを提供します。
 介護職の人材育成を更に充実させます。



手足を合わせても足りませんが、あなたの千手観音を目指し、職員一同、力を合わせて頑張ります。今年もよろしくお願いたします。